

各論

第1章 総括

1 領域設定の考え方

「健やかな鹿児島」を創造していくためには、多くの関係者、県民が健康状態等に関する情報を共有し、現状及び課題について共通の認識を持つこと、科学的根拠に基づいて設定された具体的目標の中から重要な課題を選択し、それぞれが有機的連携を図りながら対策を進めていくことが重要である。

そのため、本計画においては、早世や障害発生の主な原因である循環器病、がん、糖尿病等の発症や死亡を減少させ、歯の健康を確保するため、適切な生活習慣の改善による危険因子の低減や検診等の充実といった取組を進めることにより「生活習慣病」の発症・重症化を予防することが期待できるものとして、次の9領域を選定した。

栄養・食生活	身体活動・運動	休養・こころの健康
たばこ	アルコール	歯の健康
糖尿病	循環器病	がん

2 項目及び指標の考え方

9領域において項目及び指標の検討を行った。その際、本県の特性である「温泉資源」、「豊富な地場食材」等を意識し、本県独自の項目や指標を追加することとした。

全体で9領域70項目 112指標からなる本計画を策定したが、平成22年度を最終目標年度として「健やかな鹿児島」をつくるために、具体的項目及び指標ごとに数値目標を掲げ、県民が分かりやすいものとするとともに、その進捗状況を集団あるいは個人ともに評価できるように示したものである。

健康に関連する関係機関・団体等のもとより、県民が一体となった総合的かつ効果的な健康づくり運動を推進することを期待するものである。